

(4) 0歳児から5歳児の発達に応じて確実に経験させたい内容

発達の特徴		おおむね6か月未満 たっぴり飲んで、ぐっすり眠れるように		おおむね6か月から1歳3か月未満 身の回りへの興味の芽生えを大切に		1歳3か月から2歳未満 自分から関わろうとする姿を大切に		おおむね2歳 じぶんでできた！を大切に		
		生きる力の基礎と子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点								
生きる力の基礎	確かな学力につながる 「学びの芽生え」	思考 興味・関心 好奇心 探究心 など	○音を聞く、物を見る、握る、つかむ、しゃぶるなどの動きを十分にさせる。							
		言葉 話す・聞く 伝え合う 言葉に対する感覚 など	○機嫌のよいときには盛んに喃語で話す。	○機嫌のよいときには盛んに喃語で話す。						
		創造 感性 イメージ 素材や表現方法との出会い など	○機嫌のよいときには盛んに喃語で話す。	○機嫌のよいときには盛んに喃語で話す。						
生きる力の基礎	豊かな人間性につながる 「人との関わり」	協同 共感 調整 自己理解 他者理解 など	○あやされることを喜び、声を出したり笑ったりする。							
		信頼 自己表出 受容 自信 思いやり など	○声や泣き声で自分の欲求を表し、なだめられたり、受け入れてもらったりすることで安心する。	○声や泣き声で自分の欲求を表し、なだめられたり、受け入れてもらったりすることで安心する。						
		規範 善悪に気付く きまり ルール など	○落ち着いた雰囲気の中で、抱く、あやす、語り掛けるなどをしてもらうことで、安定した気持ちと喜びを味わう。	○落ち着いた雰囲気の中で、抱く、あやす、語り掛けるなどをしてもらうことで、安定した気持ちと喜びを味わう。						
生きる力の基礎	健康・体力につながる 「生活習慣・運動」	基本的な生活習慣 生活リズム 安全 健康 自立 など	○安心して寝入ったり目覚めたりする。 ○乳汁以外のものを飲んだりスプーンに慣れたりする。 ○オムツがぬれていたり、汚れたりしたときに取り替えてもらい、気持ちよさを感じる。							
		運動 体を動かす楽しさ 体力 など	○活発に手足を動かしたり、腹ばいで身体の前を手をついて上体をそらしたり、寝返りをしようしたりする。	○活発に手足を動かしたり、腹ばいで身体の前を手をついて上体をそらしたり、寝返りをしようしたりする。						

発達の主な特徴		3 歳児	4 歳児	5 歳児
		自分なりの表し方や開わり方が十分に楽しめるように	先生や友達と一緒に生活する楽しさを大切に	友達と力を合わせて生活を進めていけるように
生きる力の基礎と子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点		<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活(食事、排せつ、衣服の着脱など)がほぼ自分でできるようになる。 ○基本的な運動機能が発達し、話し言葉が豊かになり会話を楽しむようになる。 ○自分の思いを主張しながらも友達と同じ場所で遊んだり簡単な集団での遊びを楽しんだりするようになる。 ○自分を中心に考える時期である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○運動のバランス、コントロールが取れるようになり、協応動作(ボール投げなど)も上手になり、異なる2種以上の行動を同時に行えるようになる。 ○周囲の環境に強い関心を持ち、身近な自然物、事物・事象と触れ合う中で友達と発見し合ったり、工夫し合ったりして遊びを豊かにしていく。 ○言葉による表現が進み、友達に自分のイメージを伝えて、一緒に遊びを楽しむようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全身運動が滑らかで巧みになる。 ○細かい指先の動きが滑らかになり道具の扱い、操作ができるようになる。 ○自分なりに判断したり批判したりする力が生まれ、自分と違う思いや考えを認めたり、社会生活に必要な力を身に付けて行動できるようになる。 ○生活や遊びに見通しをもち、友達と相談し活動を発展させていくようになる。 ○今までの知識や経験を生かして創意工夫を重ね、友達と遊びを発展させていくようになる。
		<p>思考</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な草花や小動物、自然現象に興味をもって関わる。 ○身近な事物に関心を持ち、触れる、集める、並べるなどして遊ぶ。 ○身近なものに触れ、見立てたり偶然でできたもので遊んだりすることで、物の感触や形、使い方などに興味をもつ。 ○園内の身近な表示に関心をもつ。 ○生活や遊びの中で数や量などの違いに気づき、興味をもつ。 <p>興味・関心 好奇心 探究心 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○自然の美しさに触れて感動したり、自然物を使って遊ぶことを楽しんだりする。 ○身の回りの物の色、形などに興味を持ち、集める、分ける、組み合わせるなどしながら遊ぶ。 ○重い、軽い、固い、柔らかい、伸びる、縮むなどの物の性質に気づき、遊びに取り入れる。 ○身近な道具の使い方がほぼ分かり、様々な場面で積極的に使おうとする。 ○気に入った絵本や図鑑などに興味をもち、繰り返し見て楽しむ。 ○具体的な物を通して、数や量などに関心を持ち、簡単な数の範囲で数えたり比べたりすることを楽しむ。 <p>○保育者や友達の話について親しみをもって聞く。</p> <p>○遊びや生活に必要な言葉の意味が分かり、すすんで使う。</p> <p>○保育者や友達に親しみをもって挨拶をしたり、保育者や友達と会話を楽しんだりする。</p> <p>○絵本、歌などの中で言葉の面白さに気づき、繰り返し声に出して楽しむ。</p> <p>○絵本や紙芝居などの内容やストーリーに興味をもち、イメージを広げて楽しむ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○身近に起こる様々な事象に関心を持ち、疑問に思ったことなどを試したり調べたりする。 ○物の性質や仕組みについて考えたり気付いたりし、遊びに生かす。 ○目的や課題を自分のこととして受け止め、これまでの経験を生かすなどして工夫して取り組む。 ○ゲームや遊びの中で数を数えたり、文字に触れたりすることなどを通して数や文字に興味をもち、必要感をもって遊びに使う。
生きる力の基礎		<p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○親しみをもって保育者の話を聞いたり、困ったことやしてほしいことを言葉で伝えたりする。 ○「入れて」「貸して」など身近な生活の中で必要な言葉に気づき、自分も使ってみる。 ○挨拶などをする楽しさを感じる。 ○絵本や紙芝居を繰り返し見たり聞いたりすることを楽しむ。 <p>話す・聞く 伝え合う 言葉に対する感覚 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な素材に関わり、作った物を使って遊んだり、保育者や友達と一緒に身の回りを飾ったりして楽しむ。 ○自分なりに工夫して表現することを楽しむ。 ○音楽に親しみ、友達と一緒に聴く、歌う、体を動かす、簡単なリズム楽器を鳴らすなどして楽しむ。 ○絵本等の中の人や身近な動物などになりきって遊んだり、音楽やリズムに合わせて動いたりすることを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達のことを受け入れたり、自分の思いを伝えたりしながら話すことを楽しむ。 ○遊びや生活の中で必要なことを、相手に分かるように話し方や言葉を考えて伝えようとする。 ○聞いて心地よい言葉やうれしい言葉があることに気づき、自分も使おうとする。 ○すすんで挨拶をしたり、みんなの前で話をしたりする。 ○様々な体験を通してイメージを豊かにし、言葉で表現する。 ○絵本や物語などに親しみ、想像する楽しさを味わったり自ら表現したりして、言葉の面白さや美しさを味わう。
		<p>創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ○身近な素材や用具を使って好きなように描いたり作ったりして楽しむ。 ○動物や乗り物など、身近なものの動きを模倣して、体で表現することを楽しむ。 ○保育者と一緒に歌ったり簡単な手遊びをしたり、リズムに合わせて体を動かしたりなどして遊ぶ。 <p>感性 イメージ 素材や表現方法 との出会い など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○仲間の良い友達の中で、思いや考えを出し合いながら遊ぶ楽しさを味わう。 ○うまくいかないことや葛藤場面を通じて、相手にも思いや考えがあることに気付く。 ○自分から友達に何かをしてあげたり、してもらったりすることを喜ぶ。 ○クラスの友達と声や動きなどがそろ心地よさを感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達との考えの違いやうまくいかない経験を通じて、友達と工夫したり折り合いを付けたりしながら、問題や課題を乗り越えようとする。 ○友達と一緒に活動する中で、共通の目的を見だし、協力して物事をやり遂げる充実感を味わう。 ○共通の目的をもって遊ぶ中で友達の思いや考えを受け入れ、一緒に遊びを進めることを楽しむ。 ○友達と活動する中で、互いのよさを認め合う。 ○一人ではできないことが友達と一緒にだてできる喜びや満足感を味わう。
生きる力の基礎		<p>協同</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達と一緒に活動することを喜ぶ。 ○同じ場所にいる友達と関わり、触れ合って遊ぶことを楽しむ。 ○保育者や友達と、使う物を一緒に運んだり片付けをしたりする。 ○安心感をもって伸び伸びと自分を表して行動する。 <p>共感 調整 自己理解 他者理解 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達の話について親しみをもって聞く。 ○保育者や友達の話について親しみをもって聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思ったことを相手に分かるように伝えたり、相手の話していることを相手の立場に立って受け入れたりする。 ○身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の子供など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみをもつ。 ○高齢者をはじめ地域の方など、自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ○繰り返し挑戦して達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて、自信をもつ。
		<p>信頼</p> <ul style="list-style-type: none"> ○したことや感じたことなどを、保育者に受け止められ、安心感をもつ。 ○自分の思ったことや感じたことを言葉や行動など、自分なりに表現しようとする。 ○身近な様々な人と触れ合うことを喜ぶ。 ○自分なりにやってみて、できた喜びを十分に味わう。 <p>自己表出 受容 自信 思いやり など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○保育者や友達の話について親しみをもって聞く。 ○保育者や友達の話について親しみをもって聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の思ったことを相手に分かるように伝えたり、相手の話していることを相手の立場に立って受け入れたりする。 ○身近な友達との関わりを深めるとともに、異年齢の子供など、様々な友達と関わり、思いやりや親しみをもつ。 ○高齢者をはじめ地域の方など、自分の生活に関係の深いいろいろな人に親しみをもつ。 ○繰り返し挑戦して達成したり、様々な人に認められたりすることを通じて、自信をもつ。
生きる力の基礎		<p>規範</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生活や遊びの中で簡単なきまりがあることを知り、それを守ろうとする。 ○友達の反応や保育者の働き掛けから、やって良いことと悪いことが分かる。 ○遊具や用具の貸し借りや、交代する、順番を待つなどをすることで、楽しく遊べるのが分かる。 ○みんなで作るものがあることが分かり、一緒に使おうとする。 <p>善悪に気がつき きまり ルール など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と楽しく生活する中できまりの大切さに気づき、守ろうとする。 ○簡単なルールを守って遊ぶ楽しさを味わう。 ○やって良いことと悪いことが分かり、状況を感じて自分なりに行動しようとする。 ○共同のものを大切にして、みんなで使う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友達と一緒に遊びを発展させる中で、自分たちで遊び方やきまりをつくり出し、守って遊ぶ。 ○やって良いことと悪いことがあることが分かり、考えながら行動する。 ○共同の遊具や用具を大切に、譲り合って使う。 ○生活に必要なことを友達と一緒に進め、自分の役割を果たすことに喜びを感じる。
		<p>基本的な生活習慣</p> <ul style="list-style-type: none"> ○楽しい雰囲気の中で、食べ物をすすんで食べようとする。 ○身の回りの清潔や衣服の着脱、食事、排せつなど生活に必要な活動が自分でできることを喜ぶ。 ○保育者の援助を受けながら、危ない場所や遊び方を知り、気を付けようとする。 <p>生活リズム 安全 健康 自立 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○食べることを楽しみ、食べ慣れない物や嫌いな物でも少しずつ食べようとする。 ○遊びや生活に必要な準備や片付けなど、やり方が分かりすすんで行おうとする。 ○自分の健康に関心を持ち、うがい、手洗いや衣服の調整などをすすんで行う。 ○園生活のきまりや危険なことが分かり、約束を守って行動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○健康と食べ物の関係に関心を持ち、何でも残さずに食べようとする。 ○身の回りの物の始末や片付けの必要性が分かり、見通しをもってすすんで行う。 ○うがいが手洗いなど病気の予防に必要な活動を理解し、すすんで行う。 ○危険な物や場所、遊び方が分かり、状況を判断して、安全に気を付けて遊ぶ。
生きる力の基礎		<p>運動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保育者と一緒に戸外で体を動かすことを喜ぶ。 ○身近な遊具や用具などを使った運動や遊びを楽しむ。 ○自分なりに体を動かす心地よさを味わう。 <p>体を動かす楽しさ 体力 など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。 ○遊具、用具などを使い、様々な動きを組み合わせる積極的に遊ぶ。 ○簡単なルールの下で、体を動かす遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○戸外で、友達と一緒に遊ぶ中で様々な運動や遊びをする。 ○様々な運動用具をすすんで使い、工夫して遊ぶ。 ○自分の目的に向かって繰り返し挑戦したり、チーム対抗の遊びを楽しんだりする。

発達の主な特徴 生きる力の基礎と子供の発達に応じて確実に経験させたい内容の視点	小学校入門期 安心して生活し、自信をもって自己表現ができるように	
	○学校には、きまりや時間割などがあることに慣れ、適応しようとする。 ○同年齢の仲間のほか、多くの出会いがある中で、相手に親しみをもって関わろうとする。 ○先生に質問したり、先生の言うことを聞いて行動したりしながら、自分自身のことを知ってもらおうとする。 ○各教科等の学習に興味・関心をもって取り組もうとする。	
生きる力の基礎	確かな学力につながる 〔学びの芽生え〕	思考 ○目の前にある物事について見通しをもつとともに、試行錯誤しながら筋道立てて考える。 ○学校探検やアサガオの栽培などの体験を通して、自分と身近な人々や自然との関わりに関心をもつ。 ○50音のひらがなを習得し、語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読する。 ○具体物や絵、図などを用いた活動などを通じて、数についての感覚を豊かにする。
		言葉 ○興味・関心をもった身近なことについて意欲的に話したり聞いたりする。 ○相手に応じて、事柄の順序に気を付けながら話したり、大事なことを落とさないように興味をもって聞いたりする。 ○姿勢や口形、声の大きさや速さなどに注意してはっきりとした発音で話す。 ○内容の大体をつかみ、想像を広げながら読む。 ○物語や昔話、神話・伝承などの本や文章の読み聞かせを聞き、話の面白さや語り口調、言い回しなどを楽しむ。
		創造 ○身近な材料や扱いやすい用具を用いて、感じたことや想像したことを思いのままに表現することを楽しむ。 ○わらべ歌や身体を動かしながら歌う喜びを味わい、音楽の楽しさに触れる。 ○身近な楽器に関心をもち、音色のよさや面白さを感じて演奏する。 ○遊びに使う物を作ったり、遊び方を工夫したりしながら、楽しく過ごす。
	豊かな人間性につながる 〔人との関わり〕	協同 ○楽しく学校生活を送るために、周りの友達と仲良く助け合い、課題を解決しようとする。 ○働くことのよさを感じて、みんなのために働くなどして学級生活を楽しくする。 ○気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などに心掛けて、明るく接する。 ○互いの意見をよく聞いたり、気遣ったりして、仲良く助け合って話し合いを進める。
		信頼 ○幼い子供や高齢者など、身近にいる人に温かい心で接し、親切にする。 ○自分でできるようになったことや生活での自分の役割が増えたことなどを喜び、自分の成長を支えてくれている人々に気付き、感謝の気持ちをもつ。 ○父母や祖父母を敬愛し、すすんで家の手伝いなどをして、家族の役に立つ喜びを知る。 ○先生を敬愛し、家族や友達、地域の様々な人と慣れ親しむ。
		規範 ○よいことと悪いことの区別をし、よいと思うことをすすんで行う。 ○してはならないことはしないで、素直に伸び伸びと生活する。 ○約束やきまりを守り、みんなで使う物や場所、施設を大切に使う。
	健康・体力につながる 〔生活習慣・運動〕	基本的な生活習慣 ○早寝、早起き、朝ごはんの習慣を身に付けようとする。 ○笑顔で挨拶、元気に返事、きれいに後始末をしようとする。 ○健康安全に気を付け、物や金銭を大切に、身の回りを整え、わがままをしないで規則正しい生活をしようとする。 ○自分がやらなければならない勉強や仕事はしっかりとやろうとする。
		運動 ○誰でも仲良く、健康・安全に留意して意欲的に運動をする。 ○簡単なきまりや活動を工夫して、楽しみながら各種の運動をする。 ○体づくり運動、器械・器具を使つての運動遊び、走・跳の運動遊び、水遊び、ゲーム、表現リズム遊びなどを通じて、基本的な動きを身に付ける。